



REHACARE 2019 福祉機器展と福祉用具を廻るリハケア視察

(訪問都市：デュッセルドルフ・ケルン・ハイデルベルグ)

- 世界最大の国際福祉機器展 REHACARE2019 に参加 (ドイツ・デュッセルドルフ市・通訳同行)
- REHACARE 2019 のメインテーマ(自立生活・在宅ケア支援、モビリティ、新技術の活用)
- REHACARE 出展メーカーのブースにて注目福祉用具・新技術(IoT・AI)の製品説明とデモンストレーション(団長・副団長による選択と推薦)
- アレクシアネル認知症研究センターと高齢者クリニック(認知症認定と治療・老人病院との連携・徘徊モニタリング・専門スタッフの育成・介護者と家族への教育など)
- ザニートハウス・ムニ社訪問(福祉用具の流通、医療保険支払、通信販売等) その他3ヶ所の店舗を自由見学(福祉用具ショップ) デュッセルドルフとハイデルベルグ
- 南ハイデルベルグ・カトリック・ソーシャルステーション(在宅介護事業者)の訪問(介護・看護サービスの内容、家庭医との連携、家族・介護者への指導・支援など)
- 福祉用具・介護・リハビリテーション業界の情報交換と親睦

＜旅行期間と旅行料金＞

視察コース 2019年9月17日(火)～9月23日(月) ¥483,000 (全6ヶ所の視察費用が含まれます)

展示会コース 2019年9月17日(火)～9月22日(日) ¥388,000 (視察費用はオプションになります)

(注)：尚、別途燃油サーチャージ・空港諸税等約¥35,000が必要となります。

日本国内の空港からご出発の方は国内線乗継割引運賃がご利用できます。滞在延長等ご相談に応じます。

募集人員：視察コース20名様、展示会コース10名様

(視察に対しましては受け入れ先により定員20名様限定の箇所もあり、お早目にお申込み下さい。)



共同企画：(公財)テクノエイド協会 (一社)日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)

コーディネーター：渡邊慎一(横浜市総合リハビリテーションセンター)

後援：(一社)日本福祉用具供給協会 (一社)全国福祉用具専門相談員協会
(一社)日本作業療法士協会(予定)

協力：メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(MDJ)

視察会議展示会手配：CBRコーディネーション 外村龍生
〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 4-22-38

TEL(FAX)：045-901-7068 / e-mail: t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

旅行企画手配実施：株式会社東京国際ツアーズ
(観光庁長官登録旅行業第1353号・日本旅行業協会・JATA正会員)
〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301 担当：川上尚志
TEL：03-6806-7820 / e-mail: kawakami@ti-tours.com

起案日：2019年4月15日

■ご参加のおすすめ

< ご 挨 拶 >

当協会は、1987年4月に設立され、全国唯一の福祉用具に関する公益的ナショナルセンターとして、福祉用具の開発推進、普及促進と福祉用具関係技能者、認定補聴器技能者の養成・研修に努めてまいりました。ご承知のとおり、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を間近に控え、我が国の急速な高齢化にどのように対応していくかは大きな課題となっています。地域における障害者や高齢者の自立生活の支援には福祉用具の活用が欠かせません。また、福祉サービス利用者のQOLの向上と介護者の負担軽減には介護ロボットや福祉用具の開発と普及が一層望まれています。

さて、本年も当協会では、日本福祉用具・生活支援用具協会との共同企画により、海外視察研修を企画いたしました。昨年に引き続き、ドイツ・デュッセルドルフ市の世界最大規模の国際リハビリテーション・福祉機器展「REHACARE2019」を視察します。メインテーマは「自立生活・在宅ケア支援・モビリティ・福祉用具への新技術の活用」で、今回は特に革新的なIoT・AIなどの新技術を活用した注目福祉用具の展示ブースで製品説明とデモンストレーションを見学する予定です。福祉用具関係の企業は勿論のこと、初出展の企業やリハケア関係の多くの団体も出展参加する展示会です。高齢者病院と連携する認知症研究センターでは、認知症患者・介護者・家族をサポートする新しい治療・介護の開発やIoT・AIを活用したスタッフの業務管理（電子介護記録）や徘徊に関する管理状況を聴取する予定です。それに併せて、福祉用具ショッップ及び高齢者在宅介護支援センターの見学を行います。

今回も、昨年に引き続き福祉用具の専門家である横浜市総合リハビリテーションセンターの渡邊慎一・地域リハビリテーション部長（元厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官）に、コーディネーターとして参加していただき、専門職の立場から福祉用具への関わり方と活用の実際についてご指導いただきます。

介護現場で専門職として活躍されている方、福祉用具の研究開発や製造・供給に関わる方、保健福祉の行政に携わっている方など多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

公益財団法人テクノエイド協会
理事長 大橋 謙策

■海外研修ご挨拶

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）では、福祉用具の安全性や利用効果等について調査研究を行うだけでなく、福祉用具に関する普及・啓発を行い、その結果として、わが国の福祉用具業界の発展に寄与する活動を行っております。

JASPAでは、国内市場の開拓だけでなく、海外市場開拓のため4年間に亘りデュッセルドルフで開催される「REHACARE展」に出展した経験もあり、日本製品について機能性、デザイン等について評価が高く、欧州においてもマーケットがあることを確認しています。今後、日本企業が海外に進出するにあたり、世界各国の新しい福祉用具の機能やデザイン等の新しい流れを知ることが非常に重要ですが、そのためには「REHACARE展」を視察することがもっともふさわしいと考えています。

今回の海外視察研修は、「REHACARE展」の視察だけでなく、ドイツ国内の認知症研究センター、ザニートハウス（福祉用具ショッップ）、ソーシャルステーション（在宅介護事業者）等の視察も企画しておりますので、特に産業界からのご参加をいただきたく存じます。

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
会 長 木村 憲司
国際交流部会長 池田 茂

■視察のポイント

わが国では介護保険により福祉用具はより身近なものとなりました。2011 年度からは、ロボット技術を利用した福祉用具の開発・普及を促進する国レベルでの事業が開始され、高齢者や障害者の自立支援の促進、介護者の負担軽減を図ることができる介護ロボット等の福祉用具の開発が推進されています。その成果として、マスコミ等でロボット技術を活用した福祉用具を目にすることが多くなり、アシスト機能付き歩行器、高齢者施設での夜間の見守り装置などが介護保険で評価されるようになりました。一方で、開発された福祉用具は介護の現場で活用されなくては意味がなく、開発のさまざまな段階における効果検証、実際に使用するための人的・物的環境の整備等の政策が推進されているところです。

介護やリハビリテーションの現場では、高齢者や障害者の自立を支援するために福祉用具は必要不可欠です。毎年全国各地で開催される福祉用具の展示会は福祉用具にかかわる専門家や利用者にとっての新しい福祉用具の情報収集の場となっています。REHACARE 2019 は、世界最大規模の展示会で、世界中の優秀な福祉用具や生活支援機器が一堂に会する場です。海外の福祉機器展と日本のそれと比較してみると、全体の雰囲気や来場者層の違いがよく分かります。展示されている福祉用具は、性能や使い勝手もさることながら、色使いやデザインの素晴らしさに圧倒されることがしばしばです。福祉用具を、見て、実際に触って、機能や適応を考えてみましょう。

また、福祉用具の公的給付場所でもある福祉用具のショップ（ザニートハウス）、高齢者認知症研究センターとクリニック、在宅介護支援センター等を視察します。地域包括ケアを推進するなかで重要である認知症者への対応とともに、どのように福祉用具が高齢者や障害者に提供されているのか、医療や介護現場でどのように活用されているのか、多くの情報を意欲的に吸収して下さい。

わが国は、少子高齢社会の課題先進国と呼ばれ、高齢社会、人口減少等のなか社会保障制度のあり方について見直し議論がさまざまな場で行われています。諸外国の福祉用具やその支給体制を知ることによって、高齢者や障害者の自立を支援することともに、我が国は今後どうあるべきかについて考えるきっかけになればと思います。

視察中はご参加の皆様とできる限り多くの時間を共有し、語り合える機会を持ちたいと考えています。

コーディネーター 渡邊 慎一

■コーディネーターの紹介

渡邊 慎一（わたなべ・しんいち） 1961 年生まれ

履 歴：

横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部 部長

（元 厚生労働省 福祉用具・住宅改修指導官）

厚生労働省老健局 参与（介護ロボット担当）

一般社団法人神奈川県作業療法士会 顧問

一般社団法人福祉用具専門相談員協会 理事

一般社団法人日本作業療法士協会制度対策部福祉用具 対策委員長

著 書：

地域リハビリテーション・マニュアル（共著 三輪書店）

福祉用具専門相談員研修指導テキスト（中央法規出版）



< REHACARE 2019 視察コース 7日間 日程表（日本航空利用） >

日 数	月／日	都 市 名	現 地 時 間	交 通 機 関	ス ケ ジ ュ ール	食 事
1	9月17日 (火)	成 田 空 港 発 フ ラ ン ク フ ル ト 着 フ ラ ン ク フ ル ト 発 デュッセルドルフ着	11:25 16:30 17:30 20:00	JL 407 便 専 用 車 (215Km)	日本航空にてフランクフルトへ出発 到着後、デュッセルドルフに移動、夜ホテルチェックイン (約2時間30分) 泊：デュッセルドルフ	機 内
2	9月18日 (水)	デュッセルドルフ 滞 在	19:00	専 用 車	ホテルにて REHACARE 展示会見学の段取りなど打ち合わせ (両コース全員) 終日視察：①ALEXIANER 認知症研究センター ②ザニートハウス・MUNNY ORTHOPAEDIE 社 展示会コースと合同親睦夕食会 泊：デュッセルドルフ	朝 食 昼 食 夕 食
3	9月19日 (木)	デュッセルドルフ 滞 在		U バ ー ン	終日：REHACARE 展示会見学（通訳2名） ③希望者は出展メーカーのブースにて注目福祉用具・新技術（IoT・AI）の活用等のデモンストレーションと質問 (団長・副団長が推薦・選択、通訳同行) 泊：デュッセルドルフ	朝 食
4	9月20日 (金)	デュッセルドルフ発 ケ ル ン 着 ケ ル ン 発 ハイデルベルグ着	午 前 12:30 13:15 15:15 19:15	U バ ー ン 専 用 車 (41Km) (279Km)	午前：REHACARE 展示会見学（通訳1名） 午後：専門視察 ④ザニートハウス・Stortz 社の自由 見学とケルン大聖堂の見学 見学後、ライン川沿いの観光道と高速道を利用、一路、 ハイデルベルグへ 泊：ハイデルベルグ	朝 食
5	9月21日 (土)	ハイデルベルグ滞 在	午 前 午 後	専 用 車	午前：⑤南ハイデルベルグソーシャルステーション（在宅 介護事業者）訪問・講義と質疑応答及び⑥ザニート ハウス2店舗の自由見学後、視察打ち上げの昼食会 午後：自由行動（ショッピングなど） 泊：ハイデルベルグ	朝 食 昼 食
6	9月22日 (日)	ハイデルベルグ発 フ ラ ン ク フ ル ト 着 フ ラ ン ク フ ル ト 発	16:00 17:15 19:40	専 用 車 (80km) JL408 便	午前：自由行動 午後：ハイデルベルグ古城、聖霊教会、テオドル橋、 大学など見学 見学後、フランクフルト空港へ（約1時間） 日本航空にて帰途に就く 泊：機 内	朝 食 機 内
7	9月23日 (月)	成田空港着	13:55		到着、入国・通関後解散	機 内

* 視察先は一部交渉中、視察順序が変更になることもあります。*デュッセルドルフ滞在中の視察・展示会場での通訳は、両コースの全員に対し共有通訳2名、9/21（土）ハイデルベルグの視察は通訳1名。 *実施時に利用交通機関の発着時間が変更になることがあります。

< REHACARE 2019 展示会コース 6日間 日程表（日本航空利用） >

日数	月／日	都 市 名	現 地 時 間	交 通 機 関	ス ケ ジ ュ ール	食 事
1	9月17日 (火)	成 田 空 港 発 フ ラ ン ク フ ル ト 着 フ ラ ン ク フ ル ト 発 デュッセルドルフ着	11:25 16:30 17:30 20:00	JL 407 便 専 用 車 (215Km)	日本航空にてフランクフルトへ出発 到着後、デュッセルドルフに移動、夜ホテルチェックイン (約2時間30分) 泊：デュッセルドルフ	機 内
2	9月18日 (水)	デュッセルドルフ 滞 在	19:00	U バ ー ン	終日：REHACARE 展示会見学（通訳1名） <u>希望者は視察コースの視察①②オプション（有料）に参加可。</u> 視察コースと合同親睦夕食会（中華料理） 泊：デュッセルドルフ	朝 食 夕 食
3	9月19日 (木)	デュッセルドルフ 滞 在		U バ ー ン	終日：REHACARE 展示会見学（通訳2名） ③希望者は出展メーカーのブースにて注目福祉用具・新技術（IoT・AI）の活用等のデモンストレーションと質問 (団長・副団長が推薦・選択、通訳同行) 泊：デュッセルドルフ	朝 食
4	9月20日 (金)	デュッセルドルフ 滞 在 (ケ ル ン)	午 前 午 後	U バ ー ン 専 用 車	午前：REHACARE 展示会見学（通訳1名） 午後：希望者は専門視察④ オプションを選択 ④ザニートハウス・Stortz 社の自由見学とケルン大聖堂 見学 ※往路専用バス／復路列車利用 泊：デュッセルドルフ	朝 食
5	9月21日 (土)	デュッセルドルフ デュッセルドルフ発 フ ラ ン ク フ ル ト 着 フ ラ ン ク フ ル ト 発	午 前 14:00 16:30 19:40	U バ ー ン 専 用 車 JL 408 便	終日：REHACARE 展示会見学（通訳1名） 又は州立美術館（ポール・クレイの絵画）など ホテルよりフランクフルト空港へ (約2時間30分) 日本航空にて帰途に就く 泊：機 内	朝 食 機 内
6	9月22日 (日)	成 田 空 港 着	13:55		到着、入国・通関後解散	機 内

* 視察は4ヶ所を予定、希望される各項目（①②④）を選び有料のオプションとして参加できます（但し定員があります）。
* 視察先は交渉中、視察順序が変更になることもあります。 *実施時に利用交通機関の発着時間が変更になることがあります。

■REHACARE2019（国際リハビリテーション・福祉機器展・2019）デュッセルドルフ

今年も世界最大規模の国際リハ・介護・福祉機器展が開催される。障害者や高齢者が快適にいきいきと生活できるよう、約30,000㎡の展示面積（5ホール）に10,000点を超えるリハ機器・介護機器・福祉用具などが出展される。昨年は42ヶ国から約967社・団体が出展し、エンドユーザーと家族及び多くの病院・施設の専門家、商談を目的とするメーカー・販売・レンタル業者など約50,000人が来場した。近年の主要テーマは障害者・高齢者のアクティブな自立生活と在宅ケアの支援であり、特にイノベティブな福祉機器・用具、新技術（IoT・AI等）を駆使したモビリティ機器・福祉車両など幅広くラインアップされ更なる展示の充実が図られるみこみである。会場では福祉機器・用具の企業とリハケア関係団体の展示と平行し、公開討論会、ワークショップ、芸術展、スポーツアクティビティが立体的に同時開催される。メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは日本からの出展企業を募集中で昨年は10社が出展し商談実績も増えている。過去4回JASPAがジェトロ等と協力し日本の福祉用具企業10社以上をまとめ出展した経緯もある。当視察団としては今回の注目商品の出展企業ブースを団長（副団長）と共に訪ね、通訳も同行させ新製品のデモンストレーション・質問会を行う予定である。（視察③）

（REHACARE 展示会場ホールと展示ブースの一例） ↓



会場：デュッセルドルフ見本市会場（ Messe Dusseldorf ） 会期：2019 年 9 月 18 日（水）～21 日（土）

詳細情報：メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン（MDJ）専任担当 服部浩徳氏

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ・ガーデンコート 7F

Tel: 03-5210-9951 Fax: 03-5210-9959 e-mail: hattori@messe-dus.co.jp Web: www.messe-dus.co.jp

＜視察対象概要＞ドイツのデュッセルドルフ、クレフェルト、ベルギッシュ・グラッドバッハ、ケルン、ハイデルベルグ

現地視察先の都合により、20名までの人数制限のある視察先（病院・施設等）があります。9月18日は、視察コース参加者が優先となります。展示会コース参加の方は、オプション参加（専用車・昼食・通訳付き¥13,000）、9月20日のケルン・大聖堂とザニテートハウス・Stortzの自由見学は（往路専用バス・復路列車・通訳付き¥8,000）とさせていただきます。

現地協力者：口羽洋子さん 及び ミュラー・柴 勵子さん（通訳・調査）

■DEMENZ-FORSCHUNGSZENTRUM DER ALEXIANER KREFELD（アレクシアネル認知症研究センター）視察①

運営：Prof. Dr. Ralf Ihl ・イール医長（老年精神医学・療法・身体医学クリニックの医長を兼務）

手配担当：クラウゼさん http://www.alexianer-krefeld.de/forschung_und_lehre/demenz_forschung_ausbildung/

Alexianer 修道会傘下の有限会社の運営、全ドイツで170の病院と介護施設がある中の認知症研究センター。デュッセルドルフ郊外のクレフェルト（Krefeld）にあり、老人リハクリニック・高齢者入居施設などと連携して運営している。

Prof. Dr. Ralf Ihl（イール博士）の指導下で認知症患者のための高質のヘルスケアを追及・研究・提供し、認知症の治療法が確立されるまでのヘルスケアの重要な役割を果たしている。主な研究テーマは認知症患者・家族（介護者）及び治療関係者の育成・訓練・再訓練プログラム、認知症患者・介護者をサポートする新しい治療・介護の開発、ヘルスケアサービスの構造の質のチェックと最適化への立案等である。認知症研究センターと老人クリニックの連携業務などの講義・質疑応答と認知症センターと老人クリニック内を見学する。通常グループでは見学できない3時間半に及ぶ貴重な訪問である。

（高齢者認知症研究センターの外観と内部）



■SANITAETSHAUS MUNNY ORTHOPAEDIE GmbH (Gesundheitscenter), Bergisch-Gladbach 視察②

(ザニートハウス・ムニ・オルトペディー有限公司・健康センター)

1979年創業し、デュッセルドルフから1時間のBergisch-Gladbachに3店舗と義肢装具の工房及び他都市に2店舗を有する。主な取扱商品は、整形靴・オーダーメイドサンダル・種々のインソール・義肢・装具（小児用含む）・バンデージ・コンプレッションタイツ・杖・歩行器・入浴機器用具等で、介護ベッドや車いすなどの大型機器はオンライン・ショップ（カタログ・通信販売）にて対応している。在宅介護が必要になった顧客には住宅改造などに関するアドバイスも行っている。①福祉用具の流通（仕入・販売・貸与）②医療保険対応商品と支払い適用条件③オンラインショップの将来性などの説明を受け質疑応答及び店内を見学する。

■ザニートハウスの自由見学 SANITAETSHAUS STORTZ (福祉用具ショップ・シュトルツ社) ケルン 視察④

Stortzはケルンにあるこの地方では最大の福祉用具ショップで、3階に分かれ、福祉用具・リハ機器・整形外科機器（義肢装具）・介護用品・衣料品・健康機器など幅広い商品を扱っている。療法師・義肢装具士（マイスター）など専門家が対応。営業員は施設へのサービスも担当している。店舗故、自由に店舗・商品を見学する。

（注：展示会コースで参加を希望される方はケルンへの往路は視察コースに同行し専用バス、復路は普通列車にてデュッセルドルフに戻る。通訳が添乗員が同行する）

KAPHINGST ONLINE GmbH, REHASHOP(オンライン・ザニートハウス・カピnstのショールーム) デュッセルドルフ ④

SANITAETSHAUS WIELAND ORTHOPAEDIE TECHNIK (ヴァーランド・オルソペディー・テック社) ハイデルベルグ 視察⑥

SANITAETSHAUS ADVIVA (アドヴィヴァ社) ハイデルベルグ 視察⑥

(ムニ社外観と店内展示)



(シュトルツ社外観)



■KATHOLISCHE SOZIALSTATION HEIDERBERG SUEDE (南ハイデルベルグ・カトリック・ソーシャルステーション) 視察⑤

日本の在宅介護支援センターに充当するサービスを展開している。カトリック教会の Caritas(カリタス) が運営しているハイデルベルグ市では最も大きいソーシャルステーションであり、ネッカー川の南部の全地区を管轄している。(ハイデルベルグ市の15地区のうち12地区) 平日の在宅介護サービスの訪問先は24ヶ所、週末は12ヶ所。

講義(サービスの内容・スタッフの人数・ステーションが果たすべき社会的役割など。)および施設内の見学。

提供しているサービスは①相談サービス(生活環境を整えるための計画を立案等)②介護保険についての情報③保険アドバイス④福祉用具の手配など⑤訪問・在宅介護(入浴介助など)⑥医師の指導のもとでの在宅看護(包帯交換、投薬、血糖値測定など)⑦家事サービス(例えば、調理、洗濯、掃除、買い物支援)⑧家庭医へのアテンド⑨社会法典に基づく居宅要介護者と介護者(家族等)への指導と支援(日常生活へのアドバイス)・介護相談や地域でのグループミーティング、など
(<http://www.sozialstation-hds.de/>)

(カピnst社外観)



(ソーシャルステーション外観および内部)



< ご旅行代金 >

視 察コース	7 日間 (5 泊 7 日)	483,000 円 (1 人部屋追加代金 80,000 円)
展示会コース	6 日間 (4 泊 6 日)	388,000 円 (1 人部屋追加代金 65,000 円)

※ご旅行代金は、お一人あたり、2 名 1 室利用時の費用になります。

※空港税等の諸税、燃油サーチャージ (約 35,000 円) は含まれておりませんので、別途必要となります。

※両コースともに国内線乗継の割引運賃がご利用できますので、お問合せください。

※ツアー利用以外の航路を希望する場合には別途お問合せください。

■利用航空会社：日本航空

■募集定員：定員 30 名 (最少催行人員、両コース合わせて 20 名)

■申込締切日：7 月 18 日 (木) ※締切日以降のお申込みは飛行機やホテルが別手配になる可能性があります。

■宿泊ホテル：

デュッセルドルフ ホテル日航デュッセルドルフ (4 つ星クラス)

* 15 部屋確保 (先着順になりますので、定数以降は分宿の可能性があります。)

ハイデルベルク ホテルクラウンプラザシティセンター (4 つ星クラス)

(ホテル日航デュッセルドルフ)

(ホテルクラウンプラザシティセンター)



< ご旅行条件 (要約) >

このご旅行は株式会社東京国際ツアーズ (以下、当社といいます) が、企画する旅行となり、この旅行に参加されるお客様は弊社と募集旅行の契約を締結していただくことになります。詳しい条件は本パンフレット、旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面及び旅行約款になります。

■参加費用に含まれるもの

1) 航空運賃：往復団体エコノミークラス 2) 宿泊代金：ホテル 2 名 1 室 3) バス代、ガイド代：送迎、視察、観光時の移動費用 4) 視察代：通訳代、コーディネーター料、視察先 (病院・施設) への寄付、講義料、会議室代金、資料作成費用、展示会入場券、展示会カタログ代金 5) その他：企画型募集旅行保険代金 6) 食事代金：日程中に明示したもの 7) 添乗員：両コース合計 20 名以上の参加で両コース合わせて 1 名の添乗員が同行します。

■ご旅行代金に含まれないものの代表例

1) 国内交通費：成田空港までの交通費、国内線乗継運賃、前泊代金など 2) 燃油サーチャージ、空港税等：35,000 円程度 (2019 年 4 月 1 日現在) 3) プレミアムエコノミー、ビジネスクラス追加代金：別途お問合せください。なお追加代金は予約クラスにより変動しますので、お早目にお申込みください。4) 1 人部屋利用代金：視察コース 80,000 円、展示会コース 65,000 円 5) 個人的費用：別行動費用、飲み物代金、電話代金等個人的費用、海外旅行傷害保険代金、渡航書類作成費用 6) 査証費用：日本国籍のかたは査証は不要です。

この旅行条件は 2018 年 4 月 1 日を基準としています。旅行代金は作成日現在有効な団体航空運賃及び運用規則に基づいて算出しています。

■取消料規定について

旅行開始日の前日から起算して 31 日目以前の取消に関しては旅行費用を全額返金します。

30 日目にあたる日以降から 3 日目にあたる日までには旅行代金の 20%、旅行開始日の前々日から出発当日は旅行代金の 50%、旅行開始後の取消及び無連絡不参加は 100%をいただきます。

■旅行企画手配実施：株式会社東京国際ツアーズ <http://www.ti-tours.com>

(観光庁長官登録旅行業第 1353 号・日本旅行業協会・JATA 正会員)

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

担当：鈴木/川上 総合旅行業務取扱管理者：川上 尚志

TEL：03-6806-7820 / e-mail: kawakami@ti-tours.com

■視察会議展示会手配：CBR コーディネーション 外村 龍生

〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘 4-22-38

TEL (FAX)：045-901-7068 / e-mail: t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

REHACARE 2019 ご参加申込書

この申込書は渡航書類を作成する基本データになります。もれなく正確に楷書でご記入ください。 お申込日： 月 日

フリガナ	(姓)	(名)	☐ 男 ☐ 女	国籍	☐ 日本 ☐ その他()	煙 草	☐ 喫煙 ☐ 禁煙
氏 名 (漢字)							
パスポート Name (ローマ字)	(姓/Surname)	(名/Given Name)	生年 月日	西暦 (☐ 大正 ☐ 昭和 ☐ 平成)	年	月	日
フリガナ	〒 —						
現住所	電話番号： — — メールアドレス：						
勤務先	会社名			所属先			
	住所	〒 — 電話番号： — — メールアドレス：					
緊急連絡先 (日本国内)	お名前：			続柄：			
	住所：			電話番号：			

書類の送付先	☐ ご本人様 ☐ 勤務先 ☐ その他 住所等をご記入ください
--------	---

個室希望	☐ 2名1室で良い ☐ 1名1室を希望する(追加料金がかかります)
------	---

■2019年12月23日以降も有効なパスポートをお持ちですか？

ヨーロッパへのご旅行には出国時3か月以上の有効期限が必要です。
お申込時にパスポートの顔写真のページのコピーもご提出をお願いします。

備考	お部屋割り、国内線乗継、ビジネスクラス利用等の希望等がありましたらご記載ください。
----	---